

とよなか

(部内資料)



教え子を再び戦場に送るな！ 2019年12月9日発行NO. 608

地域手当・特別給(ボーナス)引上げを4月に遡り実施 不当にも月例給は初任給のみ引上げ、その他は見送り ボランティア休暇・不妊治療休暇を導入、教育職給料表1級最高号級引上げ

〔今季闘争での到達点〕

【2019年4月に遡って実施】

- 地域手当0.8ポイント引上げ(11%→11.8%)
- 特別給(ボーナス)0.05月分引上げ
(年間4.45月分→4.50月分)
《差額支給の時期は関係条例の議決後に示す》

【2020年4月より実施】

- 大卒初任給相当の号給(行政職1級29号給)までに限り給料表を引上げ
(高校卒程度5,000円、大学卒程度4,500円)
- 住居手当の改正
家賃額の下限を引上げ(12,000円→16,000円)
手当額の上限を引上げ(27,000円→28,000円)
※支給月額が2,000円を超えて減額される場合は経過措置を講ずる
- 小・中学校教育職給料表1級の最高号給引上げ
(125→157号給)
- 非常勤特別嘱託員の報酬月額1,190円引上げ、非常勤若年特別嘱託員の報酬月額1,700円引上げ、その他非常勤も常勤職員のに準じて引上げ
- ボランティア休暇(有給)を導入(5日)
- 不妊治療休暇(無給)を導入(細部は別途協議)
- 障がいのある職員の休憩時間を分割・延長できる制度導入
- LGBT等の性的マイノリティの職員に対する特別休暇等の取得可能範囲を来年4月から拡大できるよう検討

大阪府関連労働組合連合会(府労組連)に対して11月18日に大阪府の総務部長が最終回答を行いました。

府人勸軽視 道理なき 月例給引上げ見送りに 嚴重抗議

大阪府人事委員会が勧告した月例給引上げについては、「本府の財政状況を「府民の理解」などを理由に初任給のみに限定し、見送りました。これは使用者としての責任を放棄する行為である

府職員・教職員の声を 当局に届けて

府労組連(大教組・府職員労働組合)の交渉の中で、生活改善のための賃金改善の訴え、また、不妊治療に苦しむ職員の声を強く要求実現のために交渉・折衝をおこないました。こうした中、地域手当、

り断じて許されません。

差額支給!

ボーナス、地域手当が今年の4月に遡って支給されます。その差額分が支給されます。12月26日支給予定。

講師の最高号給引上げ

大教組の試算によると
30才 約47000円
40才 約64000円
50才 約71000円

同じ仕事をしているのに賃金を1級、2級で差(ベテラン層で月額約11万円)をつけています。講師の2級適用を強く求めていきます。

125号(310900円)
←
157号(317300円)

4日、参議院本会議で可決・成立 たたかいは都道府県・職場へ！

欠陥法案可決を糾弾！

12月4日に参議院本会議で自民、公明、維新等の賛成多数で可決成立しました。

与党議員も「問題が恐らく出てくる。悪用される可能性もゼロではないのでそういった意味で一つひとつの問題点はまた見つけて改善していく。」（自民）「今回の法案は終着駅ではなく始発駅だ」（公明）などと欠陥法案であることを認めながらもしやにむに法案を成立させる姿勢を変えませんでした。

**条例化許さない
たたかいを！**

2021年度からの導入が可能となる法律ですが、導入するしないは地方自治体の条例化によります。また、国会の議論の中で確認された重要な確認事項もあります。

今後は、都道府県、自治体での条例化を許さない運動を強めていく必要があります。

**教育に予算を！
せんせいをふやせ！**

長時間労働解消は「変形労働時間制」の導入で進むはずがありません。教職員を増やす！ 少人数学級をすすめる！ この声を広げましょう。

これからも、「教員の変形労働時間制」の問題について情宣でお知らせします。



**つなつな
世界ちよこっと
見て歩き**

ウクライナ編その6

今回のGW旅行、実は長々と書いてきた割にはチェルノブイリが真の目的地ではない。夏ではなく、5月でなくてはならない理由がそこにはあったのだ。知る人ぞ知るウクライナの田舎に通称「愛のトンネル」という、いわゆる“映えスポット”がある。そこにぜひ行きたくかったのだ。田舎だから当然アクセスは悪い。

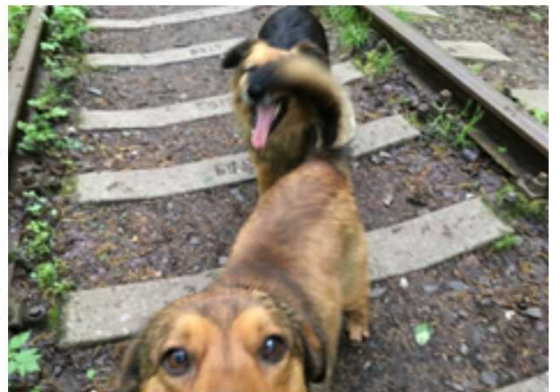
ならばゆっくり夏休みに行けばよかろう、とお思いの方もあろう。しかしそこにはその季節、無数の巨大なやぶ蚊がうようよしているのだ。その針はデニムをも突き通し、ひどい場合は顔中腫れ上がることもあるという。ぎゃーいやだー！

現地までは人探しで有名な某テレビ番組に出てきそうな乗り合いバスで行く。降りてからは何もない田舎道をひたすら歩く。とはいえ、今はモバイル地図があるので、こんな何もない所に行くのも昔に比べたら楽勝である。

果たして、新緑に包まれた愛のトンネルは息をのむほど美しかった。隣の資料運搬用に現在も日に何度か列車が通るらしいが、それ以外は静かなものである。もちろん蚊もいない。一人で行くのもあれなので入口にいたワンコたちを試しに



愛のトンネル



私を振ってくれたワンコたち

ひたすら続くまっすぐな線路の上を、木々が緑のトンネルのように覆いつくし、どこまで行っても途切れることはない。それはそれは幸せな散歩だった。
：私以外はみなカップルかグループ連れだったという一点を除いては。